

平成 20 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名：株式会社 鉄 人 化 計 画  
代 表 者 名：代表取締役社長 日 野 洋 一  
(コード番号：2404 東証マザーズ)  
問 合 せ 先：常務取締役管理本部長 浦 野 敏 男  
電 話 番 号：(03) 5773-9184 (管理本部)

## 平成 20 年 8 月期 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 10 月 15 日に発表しました平成 20 年 8 月期業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

### I. 業績予想の修正

#### 1. 平成 20 年 8 月期業績予想数値の修正 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)

〔連結〕 通期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,100	512	458	104
今回発表予想 (B)	7,123	576	516	105
増減額 (B - A)	22	63	58	0
増減率	0.3%	12.5%	12.8%	0.4%
(ご参考：前期実績) 平成 19 年 8 月期	6,840	413	364	55

〔個別〕 通期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	6,167	462	415	122
今回発表予想 (B)	6,078	567	520	140
増減額 (B - A)	△89	104	104	18
増減率	△1.5%	22.5%	25.2%	15.2%
(ご参考：前期実績) 平成 19 年 8 月期	5,860	369	360	95

## 2. 修正の理由

### (1) 連結業績について

当第3四半期における業績は、当社グループの中核的な事業であるカラオケルーム運営事業において前期より積極的に推進している「ミニ鉄人システム」での中小型店舗の出店成果と減損を伴いながらも収益性を重視して商圈規模に適応させた既存店のリニューアルの成果により売上高規模は前年同期並みであるにもかかわらず利益面で大幅に成長いたしました。また、他の店舗運営事業におきましても店舗運営の効率性を重視した取組みにより利益面で改善が図られました。

通期業績につきましても、引続き順調に推移すると見込まれますが、急速な天然資源・原材料高や円高、株安を背景とした景気の減速傾向への懸念と北京オリンピックによる集客への影響を考慮した通期業績を見込んでおります。

### (2) 個別業績について

当第3四半期における業績は、上記(1)のとおり「カラオケルーム運営事業」の業績が好調に推移いたしました。なお、平成20年6月1日をもって、当社の「まんが喫茶(複合カフェ)運営事業」は会社分割により100%子会社である株式会社クリエイト・ユーへ承継されました。

以上の結果、前回発表の通期業績予想を修正いたします。

※ 上記の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

## II. 特別損失の計上及びその内容

### (1) 固定資産除却損の計上

当社が所有する固定資産のうち、店舗の一部返却に伴い、以下のとおり固定資産除却損2百万円を追加計上いたします。

対象資産	除却計上額	内容
カラオケ中華街店の建物設備	2百万円	一部返却に伴う解体工事費
合計	2百万円	

### (2) 減損損失の計上

当社が所有する固定資産のうち、カラオケフロアの業態変更による店舗の建物設備と減損対象店舗の保証金につき、以下のとおり減損損失50百万円を追加計上いたします。

対象資産	減損計上額	内容
カラオケ新小岩店の建物設備	35百万円	業態変更による営業フロア縮小
カラオケ札幌店の入居保証金	14百万円	未償却残額
合計	50百万円	

以上